

第6学年 図画工作科学習指導案

1 題材名 「私のかわいい1年生～ドライポイント～」(絵や立体)

2 題材の考え方

本題材は、日頃の1年生とのかかわりから、それぞれが抱いている1年生への思いを主題にし、色の濃淡の効果を生かして画面構成や形を工夫しながらドライポイントで表現することをねらいとしている。この題材を通して子どもたちは、1年生への思いを形に表現することや、線の重なりによる黒と白とその中間色で表現する活動を楽しむことができると思う。

ここでの人とかかわりは、題材での1年生とのかかわりと、学習過程での友達とかかわりの2つがある。まず1年生とのかかわりは、身近でかつ継続的であり主題をもちやすく明確になる。自分から見た1年生への思いを改めて思考し、表現する中で自分もこうだったのかと成長を振り返ることができると同時に、最高学年としての意識が高まる。また、版であるため、数枚印刷した作品の1枚を1年生にプレゼントすることも可能で、思い出を共有でき作品を大切にできる態度も育むことができる。

次に友達とかかわりは、表現のよさや美しさ、表現の違いや共通点を見いだすことができ、発想の広がりや表現への自信へとつながる。

このように1年生や友達とかかわりから、自分から進んで思いを生き生きと表現しようとする姿が期待できると考える。

3 人とかかわりを大切にしたい学習指導の工夫

○ 1年生とのかかわりと表現主題づくりの工夫

最高学年の6年生として、入学したばかりの1年生に対する思い入れは強いものがある。それは、責任感であったり、自分を必要とされたい欲求であったり、無償の愛情であったりと、「かわいい」では言い尽くせない感情を抱いている。また、4月からかかわり続けており印象深い1年生への思いは、誰もがもちやすく、この思いを形に表す題材は、表現への意欲が高まると考える。

○ 自他の表現のよさを交流し合える場やグループの工夫

であいの段階では、話しやすい仲良しグループで交流させることでドライポイントの特徴やよさに気付かせ、初めての表現方法に興味をもたせる。また、1年生とのかかわりがあった写真を教室掲示し、活動を振り返りながら思いをイメージマップで広げ、表現主題を明らかにしていく。




表現の段階では、3人組で三角形に机を配置することで、言語活動が活発にでき自他の作品のよさや違いに気付かせる。

鑑賞の段階では、表現主題の異なる3～4人組で形・色・画面構成の視点で鑑賞を行う。時間も十分に確保できるため言語活動も活発になり、新しい発見をしながら自他の表現のよさや美しさを感じ取ることができると思う。

4 本題材の目標

- ドライポイントによる表現に興味をもち、その表現の特徴を理解し、自分の思いを意欲的に表現しようとする。(造形への関心・意欲・態度)
- ドライポイントによる表現の特徴を生かして、自分の思いを表現できるように効果的な色の濃淡や白黒のバランス、画面構成を考えることができる。(発想や構想の能力)
- ニードルの使い方に慣れ、色の濃淡や白黒のバランスを点や線、線の長短や重なりなど、彫り方を工夫し自分の表したいことを表すことができる。(創造的な技能)
- 自他の作品の形、色の濃淡や白黒のバランス、画面構成のよさや美しさを基に作者の表現意図を感じ取ることができる。(鑑賞の能力)

5 指導計画（12時間）

	ねらい	学習活動	配時
であ い	ドライポイントによる表現に興味をもち、その表現の特徴を見つけ、表し方を理解する。	<p>1 ドライポイントの参考作品から、表現のよさやおもしろさを味わう。</p> <p>黒と白の濃淡でたくさん色が表現できるね。光と影を感じるよ。</p>  <p>細かい黒線が集合しているからボールペンを使って表現しているのかな。</p> <p>2 感じたことを出し合い表現方法を考える。</p> <p>3 ボールペンで表現の疑似体験をし、表現方法を理解する。</p>	1 6年3組 本時
	表現主題を明確にもつ。	<p>4 1年生とのかかわりの中から自分の表したいことを見つける。</p> <p>(1) イメージマップをもとに表現主題を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面, 1年生の様子, 自分の思い <p>(2) 図工ノートにイメージスケッチする。</p>	1 6年1組 本時
表 現	ドライポイントによる表現の特徴を生かして、自分の表したいことに近づくように効果的に構想を練る。	<p>5 イメージスケッチをもとに、構想を練り、自分の表したいことに一番近い表現で下絵をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画面構成 ・明暗の付け方, 白黒のバランス ・形 	2
	ニードルの使い方に慣れ、彫り方を試しながら表したいことに近づくよう表現する。	<p>6 下絵をもとに塩化ビニル板を彫る。</p> <p>7 印刷する。</p>	4 1
	印刷の仕方を理解し、インクを拭き取り印刷する。	<p>8 印刷した作品を見て、自分の思いがあらわれているか確かめ、さらに工夫できそうな所を修正する。</p> <p>笑顔がかわいい1年生をもっとアピールするためにはほっぺたに影をつけたら生き生きするかもよ。</p>  <p>どこで石を眺めているかわかるように、1年生のお気に入りの場所を背景にかいたらどうか？</p>	1 6年2組 本時
		<p>9 印刷する。</p>	1
鑑 賞	作品を見合い、自他の作品のよさや美しさ、表現の意図を感じ取り合う。	<p>10 表現主題の異なる3～4人組みで互いの作品を見合い、形や画面構成や色の濃淡、白黒のバランスからよさや美しさ、表現の意図を感じ取り合う。</p> <p>黒と白の濃淡で1年生の笑顔が生き生き見えるよ。きれいな石を集めるのが好きな子なのだね。</p>  <p>目線が上だから、1年生が君を見上げているのだね。手を広げているから「おんぶをして」っておねだりしているのかな。</p>	1

第6学年1組 図画工作科学習指導案 (であい)


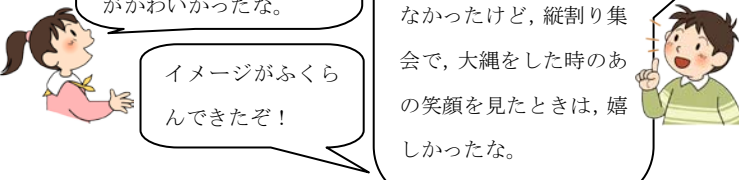

6 本時目標 (2/12)

- 1年生との活動を想起しながら、表現主題を明確にもつことができる。 (発想や構想の能力)

7 本時学習にあたって

1学期の歓迎遠足でお世話をしたり、休み時間にお世話をしたりする中で、感じたことや1年生に対する思いをイメージマップに表していく。また、そう感じた理由や根拠、場面を交流させることで、より明確な表現主題をもつことができると考える。

8 展開

学習活動・予想される子どもの姿	教師の支援 ※人とのかかわりに関する支援
<p>1 本時のめあてを確かめる。 どの場面をかこうかな？</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-right: 10px;"> ドライポイントを使って、どんな風に表そうかな？ </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	<p>○ 前時行った活動が視覚的に分かるように、学習過程を掲示しておく。</p>
<p>めあて 1年生のイメージマップをもとに、表したい自分の思い (表現主題) をはっきりさせよう。</p>	
<p>2 1年生との活動や交流を想起し、話し合いながら、1年生のイメージマップを作成する。</p> <p>(1) 図工ノートにイメージマップを書く。</p> <p>(2) 図工ノートにまとめたことを話し合う。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-right: 10px; width: 200px;"> 歓迎遠足の時に、追いかける時の、必死な顔がかわいかったな。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-right: 10px; width: 200px;"> はじめは泣いてばかりで、あまりなついてくれなかったけど、縦割り集会で、大縄をした時のあの笑顔を見たときは、嬉しかったな。 </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>イメージがふくらんできたぞ！</p>	<p>○ 1年生と関わってきた遠足や集会、休み時間や掃除時間などの写真を掲示しておき、児童がイメージをもちやすいようにしておく。</p> <p>○ 「場面」「(1年生が) ○○をしている時」「様子」等の視点を与え、その理由や根拠も書き入れて、イメージをふくらませるようにする。</p> <p>※ どの児童も発表しやすいように、まずは、3~4人の小グループで話し合い、その後全体交流をする。</p> <p>※ 1年生に対する思いが深まるように、板書を「場面」「(1年生が) ○○をしている時」「様子」に色分けしてまとめていく。</p>
<p>3 イメージマップを基に表現主題を決め、イメージスケッチをかく。</p> <p><予想される表現主題></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歓迎遠足で、鬼ごっこをしている時の、必死に追いかけてくる1年生。 ・ 縦割り集会で、手をつないで一緒に大縄が飛べた時の、笑顔がかわいい1年生。 </div>	<p>○ 表現主題を、『「どんな場面」の「○○をしている時」の「こんな」1年生』と書かせることで、広がった思いを整理できるようにする。</p> <p>○ 表現主題を明確にするために、図工ノートにかいたイメージスケッチに、思いを言葉で補足できるようにする。</p>
<p>4 本時を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-left: 10px; flex-grow: 1;"> どんな1年生をかきたいのかがはっきりしました。次の時間からは、イメージスケッチをもとにして、表現主題が表れるように下絵をかいていきたいと思います。 </div> </div>	<p>○ 図工ノートに振り返りと自己評価ができるように促し、次時に生かす。</p>

第6学年2組 図画工作科学習指導案（表現）





6 本時目標（10／12）

- 自分の表したいことが表れているか確かめ合うことを通して、自分の表現を見直し、さらに工夫することができる。
（発想・構想の能力）

7 本時学習にあたって

自分や友達作品を見て画面構成や彫り、刷りなどの工夫のよさを具体的に感じ取り、自分の作品は表したいことが伝わるか確かめ、さらに工夫を加えることをねらいとしている。そのために、全員の作品を鑑賞できる場の工夫や、友達とかかわりをもたせることで、言語活動が活発になり、自他のよさや違いを見つけたり表現の意図を考えたりしながら鑑賞し、さらなる工夫を見つけ取り入れようとする姿が期待できると考える。

8 展開

学習活動・予想される子どもの姿	教師の支援 ※人とかかわりに関する支援
1 前時の学習を想起し、本時のめあてを確かめる。	○ 前時を想起しやすいように学習過程を掲示したり、図工ノートを振り返らせたりできるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">めあて 自分の表したいことが表れているか友達と確かめ合い、さらに工夫しよう。</div>	
2 互いの作品を鑑賞し合う。 【鑑賞の視点】 線の重なりによる濃淡の付け方 線の長さや向き <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">白黒のバランスがいいな。ぼくのは、白が多すぎたからもっと彫ろう。</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-right: 10px;">服のやわらかさを出すために短い曲がった線で表現しよう。</div>  </div>	※ 自分が見たい作品により多くであわせ、課題解決のヒントを得たりよさや違いに気付かせるために、グルーピングせずに自由に鑑賞する時間を設定する。 ※ 互いの作品のよさや違いを様々な角度で見付けやすいように、机上での作品掲示方法を工夫する。
3 さらに工夫できることを考え、作品にかき加え、塩化ビニル板に彫り加えをする。 (1) 友達と工夫することを伝え合う。 (2) 自分の考えを練り直し、下絵に赤でかき込む。 (3) 彫り加える。	※ 言語活動が活発にできる <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 5px;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">画板で作った作品展示板</div> </div> よう機の配置を3人組にする。 ○ 彫り加えるところを赤で線をかき込み、印刷の線と違いがわかるようにする。 ○ 修正した下絵を下敷きにして彫り加えできるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">背景を黒く彫ったらどう？</div>	
4 本時を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。 (1) 自己評価と振り返りを図工ノートに書く。 (2) 学んだこと、発見したことを伝え合う。	○ 図工ノートに自己評価と振り返りをし、次時に生かす。
<div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">友達のをよさを生かして彫りの工夫をした。表したいことがもっと伝わるようになったと思う。次の時間の印刷が楽しみだな！</div> </div>	

